

Install FAX Service

ES-89Light — 配線する信号は **Ⓛ** 表示です。

BOX No.114302

車両情報	日産 ティーダ	平成18年12月～	C11系	1/2ページ	ES-89Light Type N.L. Opt.
	ティーダ ラティオ	平成18年12月～	C11系		
Ⓛ イモビライザー（インテリジェントキー）無し車のみ					

Ⓛ Pポジション（青）の配線について

以下の場合のみ、必ずCN2のPポジション（青）の配線を行い、フットブレーキを使用してA/T車の認識設定を行ってください。…設定手順は2/2ページを参照のこと。

●専用ハーネス：VN109Pを使用して取り付けする場合。

Ⓛ 特有の注意事項（使用できない機能等について）

Ⓛ オートロック機能は、使用できません。…機能が作動しないため。

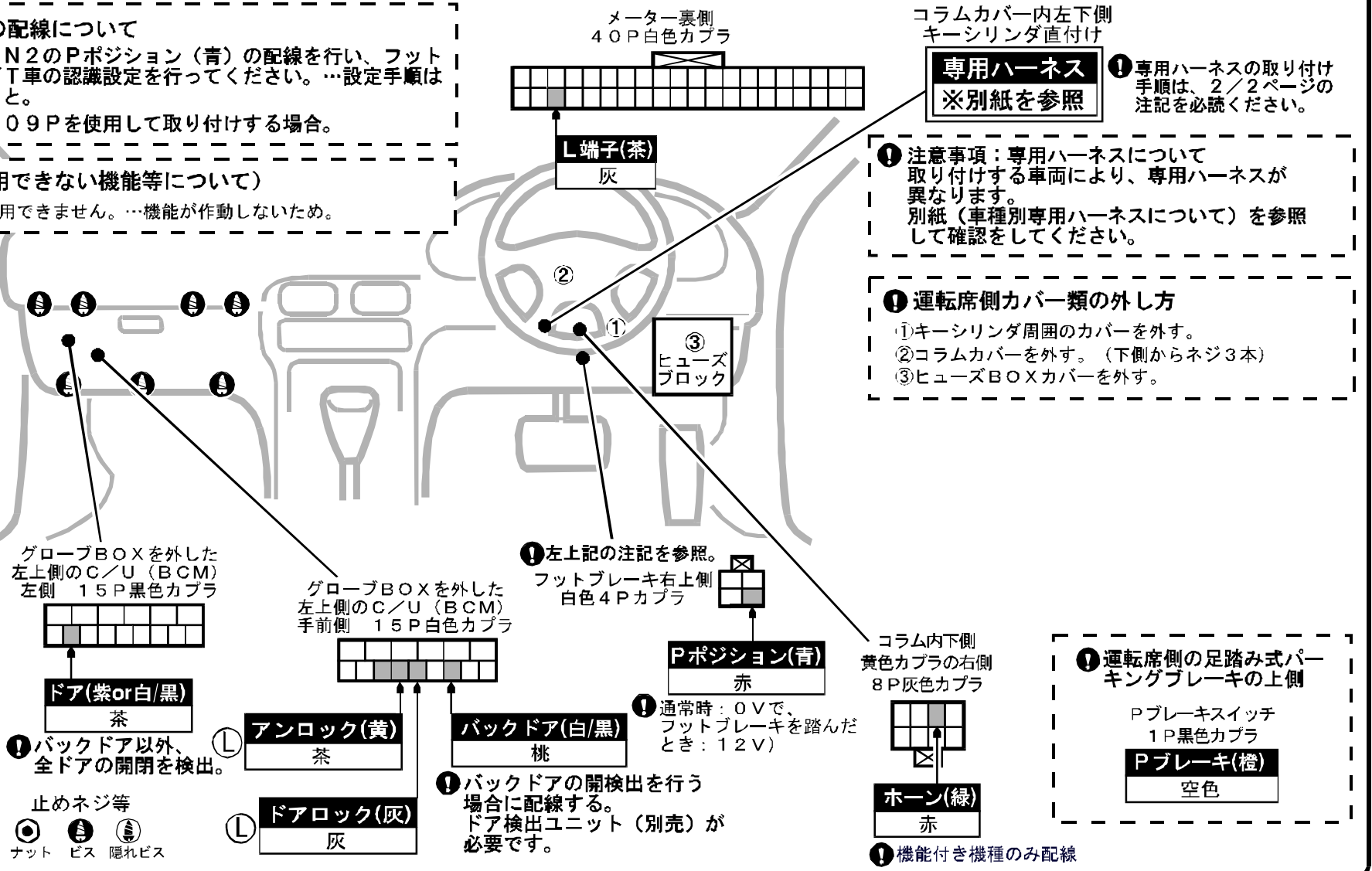
A/T車設定が必要な行 ↓のみ

(A/T車設定作業について)
配線・受信機取り付け終了後、下記の手順で設定を行ってください。

- ①車両のキースイッチをONにする。
- ②リモコンでSTOPを押す。
- ③車両のA/TシフトレバーをRレンジに動かし、受信機のアラーム音が変わった後（約3秒後）Pレンジに戻す。
- ④車両のキースイッチをOFFにしてキーを抜く。
- ⑤設定完了。

※設定作業をしないと、エンジンスターターでエンジンがかかりません。

配線内容(受信機CN2緑色)
車両配線色



専用ハーネス
※別紙を参照

Ⓛ 専用ハーネスの取り付け手順は、2/2ページの注記を必読ください。

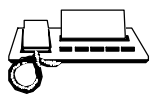
Ⓛ 注意事項：専用ハーネスについて取り付けする車両により、専用ハーネスが異なります。別紙（車種別専用ハーネスについて）を参照して確認をしてください。

Ⓛ 運転席側カバー類の外し方
①キーシリンダ周囲のカバーを外す。
②コラムカバーを外す。（下側からネジ3本）
③ヒューズBOXカバーを外す。

Ⓛ 運転席側の足踏み式パーキングブレーキの上側
Pブレーキスイッチ
1P黑色カブラ
Pブレーキ(橙)
空色

Ⓛ この資料は、当社に於いて見取りを実施した車両をもとに作成してあります。年式、グレード等によって違いが生じる場合がありますのでご注意ください。





Install FAX Service

ES-89Light — 配線する信号は ① 表示です。

BOX No.114302

車両情報	日産 ティーダ	平成18年12月～	C11系	2/2ページ	ES-89Light Type N.L. Opt.
	ティータ ラティオ	平成18年12月～	C11系		

① イモビライザー（インテリジェントキー）無し車のみ

① Pポジション（青）の配線について

以下の場合のみ、必ずCN2のPポジション（青）の配線を行い、フットブレーキを使用してA/T車の認識設定を行ってください。

●専用ハーネス：VN109Pを使用して取り付けする場合。

① 注意…専用ハーネスの取り付け手順

・コラムカバー内のスペースが非常に狭いため、専用ハーネスを取り付ける際は、以下に示した手順にて作業をしてください。
手順のとおりに行わない場合、専用ハーネスが収まらずコラムカバーが復元できない（止まらない）ことがあります。

- ①キーシリンダから6Pカブラを外し、コラム上側から右側へのハーネス束を外して、6Pカブラのハーネスをコラム右下側に引き出す。
- ②外した上側から右側へのハーネスは、ビニールテープでテーピング処理して、元通りに固定（復元）する。
- ③コラム下側で、専用ハーネス（6Pカブラ）を割込接続する。
- ④専用ハーネスのケーブル・中継カブラ・リレーは、コラム右下側から奥に引き回し、コラムカバー（下側）が復元できるように処理する。

① VN109Pを使用して取り付けする車両のみ。

① Pポジション配線して、フットブレーキで行う。

A/T車設定が必要な行 ↓のみ

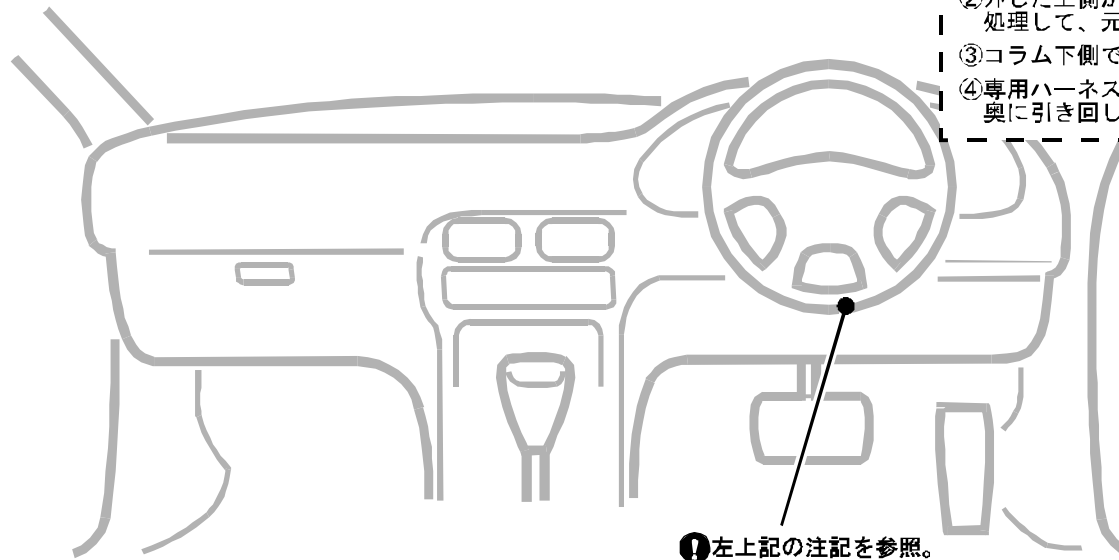
(A/T車設定作業について)
配線・受信機取り付け終了後、下記の手順で設定を行ってください。

- ①車両のキースイッチをONにする。
- ②リモコンでSTOPを押す。
- ③車両のブレーキを踏み、受信機のアラーム音が変わった後(約3秒後)ブレーキを放す。
- ④車両のキースイッチをOFFにしてキーを抜く。
- ⑤設定完了。

※設定作業をしないと、エンジンスターターでエンジンがかかりません。

配線内容(受信機CN2線色)

車両配線色



① 左上記の注記を参照。

フットブレーキ右上側
白色4Pカブラ



Pポジション(青)

赤

① 通常時：0Vで、フットブレーキを踏んだとき：12V)

車種別専用ハーネスについて

VN109P 共通追補版

平成20年 5月 1日

日産のCVT車（1500ccの2WD車）に取り付け時の注意事項

■ CVT車（1500cc:HR15DEエンジンの2WD車）に取り付けする場合

専用ハーネス
VN109P

※初年度登録が2006年（平成18年）12月以降で、以下の車両型式一車台番号の車両が該当します。

NOTE（ノート）	E11-210001～
ウィングロード	Y12-050001～
キューブ	YZ11-047001～
キューブ キュービック	YGZ11-121001～
ティータ	C11-140001～
ティータ ラティオ	SC11-097001～

①専用ハーネスは、必ずVN109Pを使用してください。

❶ N108またはVN108（CVT車以外の専用ハーネス）で取り付けをしても、エンジンスターターでエンジンが始動しません。

②エンジンスターターは、●ES-89ProLightのシリアルNo. R0013401以降の製品 ●ES-89ProLight II（シリアルに関係無く） ●ES-89PicoのシリアルNo. G0131001以降の製品 ●ES-89CuteのシリアルNo. H0057301のみ、取り付けすることができます。

❶ 上記以外のモデルで誤って取り付けされると、車両のエンジンチェック警告灯が点灯したまま消えなくなる、走行時にアクセルを踏み込んでもエンジンの回転が上がらなくなる等、車両側のトラブルが起こる場合があるため取り付けはできません。

■ 上記のCVT車（1500cc:HR15DEエンジンの2WD車）以外に取り付けする場合

専用ハーネス
N108
VN108



①専用ハーネスは、N108またはVN108を使用してください。（次ページも参照のこと）

❶ VN109P（CVT車の専用ハーネス）でも取り付けは可能ですが、Pポジションの配線が必要になり、専用ハーネスの価格も割高になります。

②エンジンスターターは、全ての製品を取り付けすることができます。

日産のCVT車（1500ccの2WD車）に取り付け時の注意事項

上記のCVT車（該当車両）は、燃費改善のために車両側のエンジンコントロールシステムが変更されています。

❶ 必ず、上記で指定した条件（専用ハーネスと取り付けするエンジンスターターのモデル）を守って、取り付けを行ってください。

❶ 万が一、指定外の条件で取り付けされた場合、エンジンスターターによる始動不具合、または車両側のトラブル・故障等については、一切その責任を負いませんのでご了承ください。

車種別専用ハーネスについての注意事項

共通追補版

ES-89ProLight IIの盗難発生警報装置に関する注意事項

平成19年 9月 1日

■ES-89ProLight II (ESL24) を取り付けする場合

①初年度登録が2006年(平成18年)7月以降の車両は、必ずヒューズ(25A)付きの専用ハーネス(VAS対応品)で取り付けをしてください。



(例)

❗車種別取付資料では、ヒューズ付き専用ハーネス(VAS対応品)を、左記のように記載しています。

VAS対応品の専用ハーネスは、頭文字がVで始まり、(V)の表示をしてあります。

左記の場合、VN108がVAS対応品です。

②初年度登録が2006年(平成18年)6月以前の車両に取り付けする場合、専用ハーネスはどちらを使用しても問題ありません。

■ES-89ProLight II (ESL24) 以外のエンジンスターターを取り付けする場合

※初年度登録年月に関係なく、専用ハーネスはどちらを使用しても問題ありません。

但し、旧型モデル(オートマチック車の認識設定を行わずに取り付けするモデル)については、旧型専用のハーネスを使用する場合がありますので、販売店にお問い合わせください。

ES-89ProLight IIの盗難発生警報装置に関する注意事項

ES-89ProLight IIは、盗難発生警報装置付きのエンジンスターターです。

このモデルは、平成18年7月より施行された道路運送車両法、盗難発生警報装置技術基準(新保安基準)に適合しており、全国自動車用品工業会(JAAMA)の盗難発生警報装置自主基準(VAS)を取得した製品です。

平成18年7月より運用を開始した新保安基準を遵守するため、取り付け等にあたっては注意が必要です。(以下を確認してください)

①初年度登録が2006年(平成18年)7月以降の車両は、新保安基準に該当します。

❗該当車両への取り付けは、ヒューズ付き専用ハーネス(VAS対応品)の使用が必須となります。

②盗難発生警報装置(機能)を使用する場合、全てのドア(バックドア等も含む)開検知が必要です。

❗該当車両は、全ドアの開検知ができるように、車種別取付資料を参照して取り付けをしてください。車両により、ドア検出ユニット(別売)が必要になります。

③登録証(全国自動車用品工業会自主基準登録証)は、必ずお客様にお渡しください。

❗製品に付属の登録証は、取り付けされた車両の車検実施時に、製品が盗難発生警報装置技術基準に適合したものであることを証明するためのものです。必要事項をご記入の上、必ずお客様にお渡しください。

なお、登録証があっても不適切な取り付け状態が確認された場合、車検時に不合格となることがあります。